

日時 令和8年1月16日

15時45分～

令和7年度 大阪府立日根野高等学校第3回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦

記録 教諭 伊藤 智崇

1. 校長挨拶

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）6名

泉佐野泉南医師会看護専門学校	副学校長	西田 好江 様
ひねのこども園	園長	神藤 吉伸 様
泉佐野市立日根野中学校	校長	古谷 秋雄 様
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	師 啓介 様
大阪府立日根野高等学校	後援会役員	梅津 二三代 様
大阪府立日根野高等学校	PTA 会長	水上 寿香 様

2) 事務局員（出席者）9名

校長	山本 好男
教頭	川瀬 治彦
事務長	大庭 毅
首席	栗原 重彦
首席	矢萩 友之
教諭（教務部長）	大土 渡
教諭（生徒指導部長）	木藤 耕平（欠席）
教諭（保健総務部長）	山口 清美
教諭（進路指導部長）	小池 洋介
教諭	伊藤 智崇

1. 校長挨拶

2. 協議案件

1) 本年度の「学校経営計画」（結果）について

・学校教育自己診断の結果について

→昨年度、生徒と保護者の肯定的回答が伸びている

→今年度、さらに肯定的回答が良化

生徒からの評価に至っては、総合的評価が90%超え（府立高校内でも特によいほう）

- ・授業改善が、本校が特に力を入れた取り組みである
→生徒アンケートの総合スコア 3.44⇒3.46
- ・ICTの活用についても力を入れる
→発表等の言語活動にも力をいれた
- ・全体的に数値は向上
⇨まだ伸びていない数値もあるので、今後はそこを伸ばしたい
- ・キャリア教育にも力を入れている
- ・いじめアンケート等、生徒指導関係や人権教育についても尽力した
- ・遅刻指導
→遅刻者数について、若干減少傾向
- ・部活動加入率
→加入率についても向上傾向(目標 55%、今年度 57%)
- ・保護者への情報提供に関連した評価は減少していたが、回復
- ・転退学者の目標は達成できず
→改善のための取り組みを行いたい
- ・教員のストレス度が低い
- ・いわゆる残業時間(30時間以内)
⇨30時間前後で推移しているので、改善していきたい
- ・昨年度定員割れを起こしてしまったので、今年度入試では1.1倍を目標にしている

2) 来年度の「学校経営計画」(案)について

- ・本年度と大きな変更点はなし
⇨不登校生徒対応については変更【OSAKA CYCLE~5つのC】
→教育相談体制を充実させる
- ・部活動加入率目標 58%に向上

3) 分掌長から報告

【進路指導部長より】

①37期生(3年生)の進路実績について

- ・公務員の実績向上
→指導のノウハウを受け継いで、日根野高校の強みにしたい
- ・近畿大の合格について
- ・産近甲龍受験者 13名
→半分受かるかな・・・
- ・国公立大受験者 3名
→模試の判定 A, B である→結果が出てほしい
- ・桃山学院大(公募推薦)の合格者を減らされた
→大和大、大経大、関西外大も公募で絞っている
⇒一般入試で生徒を採りたいとの思惑？

- ・看護医療系は50名、幼児教育系は11名合格

4) 質疑応答・意見交換

<委員>全体としては看護医療系では専門学校の受験者数が減っているが御校はどうか

<回答>大学志望の傾向が高まっている

⇒生徒がキャリアを考えると4年制大学を考えるようになったから

<委員>転退学16名(昨年度)っていう数値はどうか。目標5名はどうか

<回答>1、2年でも転学者(現在4名)がいる。また欠席が目立っている

特に2年生の転退学者が多い → 成績不振による場合がある

⇒特に進級が危ぶまれる生徒には声掛けを行う

<回答>全国平均と目標から考えて、日根野として5名という厳しい数値を課した

コロナ以降、理由のない欠席者が増えている

<委員>看護専門学校でも1年次からの退学者を設定

→早いうちから向き不向きを考えさせるので、必ずしも退学は悪いことではない

学校に合うか合わないかはその生徒との相性もある

<委員>教育相談支援委員会の構成員は

→校内のメンバー、各学年で2~3名、SC、養護教諭、状況によって外部、月1回

進級に向けてのサポートも行う

<委員>クラブ加入率を60%にするのは厳しいのか

<回答>家庭状況によりアルバイトをする生徒が多い

加入率は進学校の方が高くなる(家庭状況による→部活動はお金かかる)

よって、目標値が現実的には妥当と考える

<委員>府立高校の合併はどうなるのか

<回答>出生率が低いので、うかうかしてられない

中長期的な計画を立てることで募集人員を確保していく必要あり

<委員>カスハラはあるのか

<回答>理不尽な要求は年に1件程度ある

理不尽すぎるものには対応しない等の対処はしている

<委員>配慮生徒はどれくらいいるのか。どう対応しているのか

<回答>各学年で10名以上いる

起立性調節障害などもいる → 起きられない分、何らかのフォロー

オンラインも活用している。診断書などにより特別配慮での単位認定もしている

<委員>外部講師はどのような人。生徒の反応はどうか

<回答>調理実習で外部講師(スタッフも含め) ⇒ 生徒の満足度は高い

保育系や金融教育も行っている

<回答>実技系に多い。がん教育も行っている。他にも多くの外部講師を呼んでいる

<委員>講演料は

<回答>ボランティア。専門学校は日根野から生徒を送り出すことで、ギブアンドテイク

<回答>総合探究では専門的な講師を呼んで行った

<委員>遅刻者数はやむを得ない生徒も含むのか

<回答>電車の遅延は含まない。体調不良は含む

遅延状況により、臨機応変に遅刻対応

<委員>日根野イオンの未来屋書店で参考書等はどのようなものを取り入れてほしいか

<回答>進路指導室で赤本の貸し出しをしているが、問題集については声は上がっていない

<委員>バスケ部は部員数が少ないみたいだが、教員の指導のおかげで子どもがいきいき

<委員>教員の明るさに助けられる、子どもが学校を楽しく感じている

残業を減らす取り組みとして何をしているのか

<回答>本校赴任当初教員が疲弊していた

公務の電子化。府立高校で一番のレベルで進んでいる。

会議の精選(30分以内) → 整理して話すよう指示

⇒書面での職員会議も行う

⇒生徒と触れ合う時間を保つのはもちろんのことであり、それを確保するための働き方改革だと考えている

<回答>採点の効率化 (デジタル採点) ⇒クラスルームでの答案返却(データ返却)へ

→生徒は早く結果を知ることができる

自動採点も進めている

<委員>手採点でないデメリットもあるのでは

<回答>誤配信のリスクもあるが、そのあたりは校内研修等でも行いたい

<委員>成績のつけ方で苦情あるのか

<回答>それは聞いたことない

5) 来年度「学校経営計画」(案)について

- ・協議会委員全員より承認を得た

6) その他

- ・任期は今年度で任期は満了となるが、次年度も引き続きお願いしたい

- ・次年度の日程について

第1回 令和8年 5月22日(金) 13時30分～

第2回 令和8年10月16日(金) 14時20分～

第3回 令和9年 1月22日(金) 15時45分～

※日時は、学校行事等で変更になる場合がございます。ご了承ください。